

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

397

ふりがな 氏名	おおにし りょうた 大西 亮太					
所属先	所属先名称	喜多方市 市民生活課 有害鳥獣対策室				
	役職名	鳥獣被害対策専門員				
専門分野	捕獲手法 ( ) 侵入防止技術 ( ) 周辺環境整備 ( ) 地域合意形成 ( ) 野生動物管理 (生息調査含む) ( ) 処理 (焼却・減容化) ( ) 利活用 (食肉利用等) ( ) その他 ( )					
対象鳥獣	シカ ( ) イノシシ ( ) サル ( ) クマ (ツキノワグマ・ヒグマ) ( ) ハクビシン ( ) アライグマ ( ) アナグマ ( ) カラス ( ) カモ ( ) ヒヨドリ ( ) スズメ ( ) ムクドリ ( ) その他鳥獣 ( )					
対応可能地域	全国 ( ) 北海道 ( ) 東北 ( ) 関東 ( ) 北陸 ( ) 東海 ( ) 近畿 ( ) 中国 ( ) 四国 ( ) 九州 ( ) 沖縄 ( ) その他※特定の都道府県、地域 ( 福島県隣接県 ) ( )					
免許及び資格	狩猟免許 ( ) ( 銃 : 取得年 平成29年、 わな : 取得年 平成29年 ) ( ) 鳥獣保護管理 ( 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター ) ( ) 鳥獣保護管理士 ( ) ( ) その他 ( ビオトープ2級計画管理士、ビオトープ2級施工管理士、環境再生医(初級) ) ( )					

活動実績	
活動期間	平成29年～令和3年
地域	福島県喜多方市
対策の種類 ※該当に○を記入	捕獲手法 ( ) 侵入防止技術 ( ) 周辺環境整備 ( ) 地域合意形成 ( ) 野生動物管理 (生息調査含む) ( ) 処理 (焼却・減容化) ( ) 利活用 (食肉利用等) ( ) その他 ( )
対象獣種 ※該当に○を記入	シカ ( ) イノシシ ( ) サル ( ) クマ (ツキノワグマ・ヒグマ) ( ) ハクビシン ( ) アライグマ ( ) アナグマ ( ) カラス ( ) カモ ( ) ヒヨドリ ( ) スズメ ( ) ムクドリ ( ) その他鳥獣 ( )
活動の内容	<p><b>捕獲手法</b> 鳥獣被害対策実施隊に対して、捕獲手法の講習を実施した。イノシシについては、くくり罠の導入により隊員の捕獲技術の習得、向上に努め、年々捕獲実績が増加している。ニホンザルについては、過去、群れに対して銃猟による無差別な捕獲が行われていたが、群れの攪乱に起因する分派・分裂により、加害群および被害の増加を防ぐ為、銃猟による直接捕獲を行わないよう指導し、モニタリング調査に基づく箱罠による捕獲推進を指導。</p> <p><b>侵入防止技術</b> 地域住民に対して、電気柵の普及啓発および設置指導、柵の導入に係る設計のアドバイスを実施。各地区の希望に応じて現地での設置講習会を開催し、正しい設置方法のノウハウの普及に努めている。また、集落ぐるみによる広域的な柵の導入の際は、設置場所のルートや必要となる物品の内容等について、地区住民への助言を行っている。</p> <p><b>周辺環境整備</b> 地域住民に対し鳥獣が出没する原因となっている未利用果樹(放任果樹)の伐採に係る助言、指導の実施。行政に対する未利用果樹等の伐採推進のための体制作りの提案および制度設計に参画。</p> <p><b>地域合意形成</b> 地区の希望に応じて集落環境診断を開催し、地域住民に対しスライドを用いた鳥獣の生態や特徴についての学習会や、鳥獣の出没状況および被害状況を把握するための集落内の点検、住民が主体となった対策の検討会および対策の実施、実施した対策の評価および改善策の検討など、住民参加型の被害対策のコーディネーターとして集落ぐるみの被害対策の推進を図っている。</p> <p><b>野生動物管理(生息調査含む)</b> 鳥獣保護管理のための管理計画の策定および計画策定に係る生息状況の調査を実施している。ニホンザルについては、発信機の装着によるモニタリング調査を行い、群ごとの管理状況の継続的な把握に努めている。また、モニタリング調査に係る調査技術を、行政職員、鳥獣被害対策実施隊員、地域住民に対し指導し、モニタリング調査の補助が出来るよう人材の育成を図っている。</p>